

「まち」がミュージアム! 2003

見る聞く歩く新発見

9/6(sat)~9/14(sun)/2003 [アートによる「まち」再生美的主義]



オープニング・パーティー／9月6日(土)午後7時～場所:ギャラリー野ばら
堀尾貞治パフォーマンス
エンディング・パーティー／9月14日(日)午後6時～場所:ギャラリー野ばら
関連企画
田中浜+桃花村舞踊公演／9月7日(日)午後7時30分～会場:ナトリウム野外ステージ/予約¥3,000、当日¥3,500
シバ・ブルースライブ／9月13日(土)午後7時30分～会場:JazzBar NOW / 前売り¥2,500(ドリンク30人限定)
まち中転写ストリートライブ／9月7日(日)
堀尾貞治神出鬼没あたりまえパフォーマンス
[まち]で見つけ展(一般参加企画)9/6(土)～9/13(土)

西裏フラフラ月江寺 本町ふりむきや富士の山。
てなてな訳で今年も「まち」がミュージアム!
小さいことはええこっちゃ ゆっくり歩こまちゃん
えーあの放浪歌人「山崎代」が歌っておりますよ
「なるようになってしまったようである 穴がせまくて引き返せない」ってね
うーんなんだかあの世からこの世を
憂いてるようにも聞こえますなあ...

Access information
東京方面から
電車 / 中央線新橋～大月富士急行線乗換～
富士急行線月江寺駅一徒歩5分
車 / 中央高速道路・河口湖IC.→富士市方面約10分
静岡・名古屋方面から
車 / 東名高速道路・御殿場IC.→東富士五湖道路→
富士市IC.→富士市方面約10分



artists「まち」がミュージアム!

mACHI gA mUSEUM
2003

9/6(sat)~9/14(sun) 2003



林 裕子

ふーと、きもちいい風が頬の辺りを流れていく。
ふわりと立てば、それだけで風が行き交うやさしい空間。
いや、この街の暮らしとともに積み重ねられた時の彩(いろ)を持ち、彼時の人の温もりを孕んだ愛しい空間。
「まち」がミュージアム!ならでは、「場」がそこに広がっている。
幾人もの人の手を借りて集められた新聞は、やがて手から滑り出す糸となり、その糸で織りなす紙布へと変わる。その紙布の集合が、風を含んで愛しい「場」に高く浮かび上がる。
題名「Listening to Leaves」一握の葉に聞く一木樨の葉が命を育み、落ち葉となつては新たな命への再生のエネルギーとなつていくように、自分が情報を持った「新聞」もまた次なる命の種へと繋がられたらと思う。



金 恵 誠

「表現」
一つの音には、その音の周りに
いろんな音が存在している。
決して一つの音だけでは無い。
一つの作品も、作品だけで存在
するのではなく作品が埋められる
ことによって、空間にその存在
が生まれる。



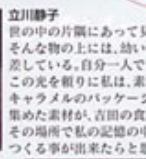
野ばら あさこ

話の端い今だからこそ、私は明るいものを生産したい
と思っています。私の作品を見た人が、一瞬でも「ニヤリ」と笑
うことが出来たら、その日の中で一瞬でも、平和な時間が
作られた事になると思うのです。
ゼロではない。1日の中の、ほんの一瞬だけでもいい。
そんな一瞬がたくさん集まり、いつか大きな笑顔に繋がって
いくことを私は願い、作品を作っています。



中里和人

「上の蔵門」屋敷商店をくぐる。そこは上の蔵、蔵の暗闇に浮かぶ日本の間々の写真は、子供時代の記憶をよび返す。人が
顔やミジカだった道徳子をつくす。
昨年になつて、町の記憶と夢の映像がショートする空間で、日本



立川静子

世の中の片隅にあって見捨てられ、静かに存在する物。
そんな物の上には、幼い日の記憶の中にあるきれいな光が
差している。自分一人でも感じ取ることでできない。
この光を頼りに私は、素材を選び形をつけている。
キャラメルのパッケージや古びたトタン、古布、甲府で
集めた素材が、古田の食品倉庫の横で、なにを囁かすのか。
その場所での私の記憶の中にある、静か未来のような空間を
つくる事が出来たらと思う。



矢部史朗

一ヶ所での出来事は消えやすいものなので、
その先があらゆる方向に開かれています。
そのためにも記録づくりには気をつけたいものです。



井上 剛

「まち」という会場に作品を展示します。これは私にとって
興味深い試みです。
「まち」がミュージアム!
「まち」はミュージアム!、「まち」でミュージアム!
「まち」とミュージアム!、「まち」にミュージアム!
「まち」のミュージアム!、「まち」をミュージアム!...
やっぱり「まち」ですね。楽しみます。 *純粋な写真と実際の展示作品は異なる場合がありますので、ご了承ください。



堀尾貞治



堀尾貞治

「新しいまち」がミュージアム!
毎回ユニークなまちの中の場所設定からはじまる展示
会はその設定からしてユニークで、わくわくさせてもら
える。本来、美術はわくわく感から出発したのだと思う。
そのわくわくがわくわく争を運んで、そこに新しい
喜びを生みだせるのが、生きた美術ではないかと考えて
いる。今年もみなさんに会えると思うと楽しみです。
作品は場所との出会いが形になれば一番ぴったりと自
分も場所もひとつの言葉となつて、叫び出すのだと
思っております。

EVENTS

オープニング・パーティー／9月6日(土)午後7時～場所:ギャラリー野ばら
堀尾貞治パフォーマンス
エンディング・パーティー／9月14日(日)午後6時～場所:ギャラリー野ばら
お問い合わせ:野ばら/0555-22-0552

田中浜+桃花村舞踊公演
「家族からからか」-赤松の森にて-
9月7日(日)午後7時開場、午後7時30分開演
会場:ナトリウム野外ステージ
予約¥3,000、当日¥3,500
お問い合わせ
ナトリウム:0555-24-2938

シバ・ブルースライブ
-毎夜夜通しおきていて-
9月13日(土)午後7時開場、午後7時30分開演
会場:JazzBar NOW
前売り¥2,500(ドリンク30人限定)
お問い合わせ
NOW:0555-24-3510
ナトリウム:0555-24-2938

まち中転写ストリートライブ／9月7日(日)
堀尾貞治神出鬼没あたりまえパフォーマンス

【まち】で見つけ展-一般参加企画
(ポラロイドカメラであなたの好きな「まち」の風景やモノを写してください。参加費/一人一点¥100)
9月6日(土)～9月13日(土)
最終日9月14日(日)午後3時から、優秀作品に賞品を贈呈します。
イベントに関するお問い合わせ